



鏡石町長 木賊 正男

ふるさとに誇りを持てるまちづくり

新年おめでとうございます。

皆様には、輝かしい希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、鳥見山陸上競技場の大規模改修が完了し、公認競技場として生まれ変わり、リニューアルイベントを開催しました。また、第50回ふくしま国体から30年の節目の年でもあり、更なる競技力の向上や、町民の健康増進をはじめとした賑わいの創出を期待しております。

さて、本年は、鏡石町第六次総合計画の前期計画の最終年次となることから、施策の評価と改善を行い、社会環境の変化に対応した後期計画づくりを行います。

本町がこれからも住みよい町であり続けるためにも、子育て環境の充実は重要な施策であることから、町社会福祉協議会を事業主体とした「幼保連携型認定こども園」を老人福祉センター跡地に建設を進め、関連道路の整備にも取り組んで参ります。

12月には、「米・食味分析鑑定コンクール国際大会in須賀川岩瀬」が開催されます。高品質・安全・安心で食味の良い、鏡石産米の魅力を国内外へ発信する絶好の機会でありますので、農業活性化のため、多くの出品をお願いいたします。

また、喫緊の墓地不足に対応するため、池ノ原地区に町営墓地を整備しており、春の利用開始に向けて今後、利用者の募集を行って参ります。

人口減少社会においても安定的な行政運営を行うため、貴重な税財源を投資効果の高い事業に振り向けるなど持続可能な財政運営に努めて参ります。

ふるさと鏡石を誇り豊かで、住み続けたい町とするため、「シビックプライド（郷土愛の精神）」を持ち全力で各種施策に取り組んで参りますので、皆様には、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして素晴らしい一年となることを心よりお祈り申し上げ、年頭のごあいさついたします。



鏡石町議会議長 角田 真美

町民に身近な議会づくり

新年、明けましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、旧年中は町議会に格別のご支援とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

令和7年、高市早苗氏の憲政史上初の女性内閣総理大臣就任や、全国各地でクマとの遭遇リスクが高まり、人的被害も多発する等様々なニュースがあった中で、我が町にとって大変喜ばしいニュースが若い方々のご活躍によって届けられました。

福島県教育委員会が毎年開催している、小学5・6年生を対象とした算数・数学の能力を測るイベント、「令和7年度福島県算数ジュニアオリンピック」において、鏡石第二小学校（富永陽一校長）が県内1校のみに与えられる最高学校賞を見事獲得し、個人の部では6年生の滝口颯太さんが銀賞、6年生の吉田脩人さんが銅賞を獲得しております。

11月には、増子陽太選手（学法石川高3年）が「日本体育大学長距離競技会（NCG）男子5000m」に出場し、大学生や実業団の選手を抑え日本人トップで走り抜け、昨年自らが記録した県高校記録を更新し、日本高校記録歴代3位となる13分27秒26という非常に素晴らしい記録を残しております。これ以外の様々な競技・各分野においても素晴らしい成績を収めております。大活躍を見せる若者達の姿は、町民に「感動と勇氣と元氣」を与えてくれました。令和8年も、更なる飛躍、益々のご活躍によりご本人・ご家族はもとより鏡石町にとっても明るい話題を届けてくれることを、大いに期待するものであります。

議会といたしましても、鏡石町が安全で安心して住みやすく、鏡石町に誇りを感じていただけるまちづくりを、町当局と共に推進していかなければならないと改めて決意し、議会活動に全力で取り組んで参る所存です。町民の皆様からの忌憚のないご意見とご叱声をお聞かせ頂ければ幸いに存じます。

結びに、今後、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願いしますと共に、町民の皆様のご健康とご多幸を祈念し、年頭のごあいさついたします。